



榊原病院 Monthly

Vol.29 2018.August

独立行政法人国立病院機構 榊原病院
National Hospital Organization SAKAKIBARA Hospital

院長

村田 昌彦(むらた まさひこ)

1962年生まれ
1991年富山医科薬科大学医学部卒
1996年同医学部大学院卒
2014年国立病院機構北陸病院精神科部長
2015年国立病院機構榊原病院副院長を経て、2018年国立病院機構榊原病院院長就任。
日本司法精神医学会評議員。



診療科

- ・ 一般精神科
- ・ アルコール・薬物依存症
専門外来
- ・ こころのリスク外来

病床数 176床

- ・ 精神科病棟 158床
- ・ 医療観察法 18床
- ・ 認知症ユニット
- ・ アルコール・薬物依存症ユニット

病院理念

この病院で最も大切なひとは治療を受ける人である

《病院の食事 ケータリング食について》

栄養管理室長 佐藤 英成

お食事の時間は、入院患者さまにとって、療養中の楽しみの一つだと思います。当院のお食事は、一般病院のように院内調理で提供する方式と異なって、「ケータリング食」を採用し提供しております。これは、平成24年度より日清医療食品(株)に委託しており、約7年が経過しました。「ケータリング食」とは、院外のセントラルキッチンという1日に何千食という食事を作る規模の、衛生管理が徹底された工場で調理されます。そして、できあがった食材を瞬間冷却し、3℃以下で温度管理を徹底した状態で当院に納品されます。納品された食材は、病院の厨房において再度加熱等をして、盛りつけています。温かい食事は温かく、冷たい食事は冷たくなるよう、食事の時間に最適な状態で提供させていただいております。

本年3月までは、名古屋市内の工場から調理されて納品されておりましたが、4月より、昨年京都の亀岡市に建設された、日清医療食品(株)の最新工場で調理されたものが納品されるように変更させて頂きました。従前の名古屋市内の工場では、調理された料理をトレイごと納品される形式でしたが、新たな亀岡市内の工場からは、真空パックになって納品されます。今回の新たな方式により、今までの食事から、さらに味が染みるなどして美味しくなり、また、献立のバリエーションも増えて、品質の向上に繋げることが出来たと思っております。

入院患者さまにご協力頂いた嗜好調査の結果においても、前回調査と比較し、食事の内容に満足して頂いている方の割合が15%も増えました。委託先の日清医療食品(株)には、日々品質向上に取り組んで頂いており、患者さまの満足度向上に繋げることが出来たと思っております。

今後も、ケータリング食の提供を依頼している日清医療食品(株)と協力して、さらに患者さまが安心・安全で喜んで頂ける食事サービスに努めて参ります。

※京都の亀岡市から当院まで、温度管理された安心・安全な食事を、毎日トラック便で運んでいます。

トピックス

行事・
出来ごと

- 平成30年6月20日、第2回症例検討会(YOU-C-C)を開催しました。
- 平成30年6月28日、院内消防訓練を実施しました。
- 平成30年7月3日～6日、包括的暴力防止プログラム(CVPPP)指導者養成研修を開催しました
- 平成30年7月24日、医療観察法病棟外部評価者会議を開催しました

教育・
研修

- 平成30年度「包括的暴力防止プログラム(CVPPP)フォローアップ研修」平成30年9月13日(木)～14日(金)
- 平成30年9月19日、第3回症例検討会(YOU-C-C)開催予定
- 第2回CVPPP研修会 平成30年11月19日～22日

榊原病院ホームページ
QRコード



地域医療連携室だより

〈医療福祉相談のご案内〉

経済的な心配、福祉サービスの利用、退院後の生活など病気によって生じた生活上の困り事について、精神保健福祉士がご相談に応じます。相談をご希望の方は、主治医、看護師及び医事受付まで申し出てください。

訪問看護

当院の訪問看護は、退院後地域で安定した生活が送れることを目標といたしております。退院後の課題といたしましては、大切な薬を中断してしまうこと・生活リズムを守れず昼夜が逆転してしまうことやお金の管理が上手くできず使いすぎて生活に困る等の病状がみられます。

これらの症状の悪化に伴い再入院する方が多くなっておりま。患者様と家族の困ったことについて、地域の方々の支援を受けながら一緒に考え、安定した生活ができることを目標としております。

治療抵抗性精神疾患への医療

〈クロザピンの治療状況〉

治療抵抗性統合失調症に対して、平成26年10月に1例目の投与を開始し、平成30年7月までに全症例は64例となりました。新規導入は6月1例、7月0例でした。順次投与を開始する予定です。クロザピン通院専門外来も開設しております。



認知症医療・アルコール・薬物依存医療・こころのリスク外来

〈認知症医療〉

認知症の患者様は高齢であることから、様々な合併症をお持ちの方が多くおられます。また、アルコール問題の後に、認知機能が低下した方、さらに身体疾患に併発した認知機能の障害のある方は、若年の方にも見られます。したがって、現在は80歳以上の超高齢の方と50～60代の若年の方にも見られます。身体的な問題については、三重中央医療センターと連携を図りながら、幻覚や妄想、不穏など認知症の周辺症状（BPSD）に対応しています。一般病院や介護施設において、BPSDの問題でお困りの場合はご相談ください。

〈アルコール・薬物依存医療〉

適正な飲酒量とはどの程度かご存知でしょうか？「節度ある適度な飲酒」とは、純アルコールで1日約20グラム程度、つまり日本酒なら1日1合、ビールなら大瓶1本だけなのです。日本酒3合では健康に悪影響の出る「多量飲酒」（健康日本21）と言われています。もし減らすことが難しいという方がおられましたら、外来・入院での治療プログラムにてご協力させていただきます。お一人で、ご家族だけで悩み解決しようとするのではなく、まず専門スタッフへお気軽にご相談下さい。ご自分だけで抱えずに相談することが、病気を回復する第1歩です。

〈こころのリスク外来〉

思春期・青年期はこころのリスク状態が高まり、さまざまなこころの病気を発症しやすいと言われています。当外来はこころのリスク状態を早期に発見・治療していくための専門外来ですので、お気軽にご相談ください。



デイ・ケア案内

デイケアは毎週、木曜日を除く週4日、北病棟3階作業療法室奥で実施しています。実施時間は9時30分から15時30分です。榊原地区の自然を楽しむ町内散歩や、スポーツ、音楽、アートなど様々な楽しみごとを行います。昼食づくりやお菓子作り、喫茶の会など、実用的な体験もできます。参加者で協力しあって、コミュニケーションの練習も、がんばっています。

参加希望の方は主治医またはデイケア担当者にご連絡下さい。デイケアのパンフレットを外来待合室に置いてあります。また、病院ホームページに月間プログラムもあります。お気軽にお問い合わせ下さい。



好評の手打ちうどん作り
丁寧に切って仕上げます



上々の仕上がりで
おいしくいただきました

栄養コラム



《食塩摂取の目標量は？》

醤油、味噌の文化の日本人は、長年塩分の過剰摂取を言われてきました。2013年のWHOのガイドラインが成人に対して推奨しているのは、5g/日未満で、日本高血圧学会の高血圧治療ガイドラインの減塩目標6g/日未満より少ない量です。日本人の食事摂取基準2015においての塩分の目標量は、高血圧の予防、治療のためにできるだけこの値に近づくことを目標とすべきと考えられ、男性8g、女性7gとなっています。

健康睡眠12ヶ条

第三条 良い睡眠は、生活習慣病予防につながります。

・睡眠不足は、高血圧、糖尿病、いいては不整脈、脳卒中、虚血性心疾患(心筋梗塞)、認知症などの合併症の危険性を高めることが

・あなたのイビキ、大丈夫ですか？

睡眠時無呼吸症候群は生活習慣病の大敵です。寝ている間のイビキが(呼吸が)止まっていると、睡眠時無呼吸症候群の恐れがあります。注意しましょう。

睡眠時無呼吸症候群には中枢型(脳の呼吸中枢の問題)と末梢型(気道…のどや気管の問題)があります。太っていると呼吸がにくくなります。また、飲酒するとのどがむくみ、呼吸がにくくなりますので、寝酒はやっぱりよくないですね。

今日も良い睡眠をしっかりとって、健康な生活をおくりましょう。